

復活におけるキリストのビジョンと経験 (3)

キリストのからだの実際のために復活の中で生活する

聖書：Ⅱコリント 1:8-9. ローマ 8:28-29. ピリピ 3:10-11.

Ⅱコリント 4:16. Ⅰコリント 15:58

I. わたしたちは復活の中で生活するために、キリストの復活に関する、明らかにされた真理を見なければなりません：

- A. キリストは彼の人性において、彼の復活の中で神によって生まれ、からだのかしらとして神の長子となりました——使徒 13:33. ローマ 8:29 後半. コロサイ 1:18.
- B. キリストのすべての信者は、キリストの復活を通して、父なる神によって再生されました。それはキリストの複製である彼のからだとしての召会を生み出すためです——Ⅰペテロ 1:3. ヨハネ 12:24. Ⅰコリント 10:17. 12:12.
- C. キリストは最後のアダムとして、からだの本質、内容、実際である命を与える霊と成りました——15:45 後半. エペソ 4:4.
- D. 主の復活のこれらの主要な項目（神の長子、神の多くの子たち、命を与える霊）なしに、召会、キリストのからだ、神のエコノミーはありません。
- E. 復活は、神聖なエコノミーの命脈であり、生命線です——参照、Ⅰコリント 15:12, フットノート 1.

II. その霊は、三一の神の実際であり、復活の実際であり、キリストのからだの実際です：

- A. 手順を経た三一の神の実際は、究極的に完成された実際の霊です——ヨハネ 14:17. 15:26. 16:13. Ⅰヨハネ 5:6.
- B. 復活の実際は、命を与える霊であるキリストです——ヨハネ 11:25. 20:22. Ⅰコリント 15:45 後半.
- C. 実際の霊は、手順を経た三一の神のすべてを、キリストのからだの中で実際とします——ヨハネ 16:13-15.
- D. その霊がなければ、キリストのからだはなく、召会はありません——エペソ 4:4.

III. わたしたちはキリストのからだの実際の中にいるために、完全にキリストの復活の命の中にいる必要があります：

- A. 召会は完全にキリストの要素のものであり、完全に復活の中にあり、完全に天上にあります——Ⅰペテロ 1:3. エペソ 2:6. 参照、創 2:21-24.
- B. 金の燭台は、キリストのからだとしての召会を予表しており、それは、キリストが復活の命であって、生長し、枝を出し、つぼみをつけ、花を咲かせて、光を輝かすことを描写しています——出 25:31-40. 民 17:8. 啓 1:11-12. エペソ 5:8-9.
- C. わたしたちが天然の命によって生きるのではなく、わたしたちの内側の神聖な命によって生きるとき、わたしたちは復活の中にあり、その結果はキリストのからだです——ピリピ 3:10-11：
 - 1. わたしたちはみな主によって弟子とされ、神聖で奥義的な人たちとなって、自分たちの天然の命を否むことによって神聖な命を生きる必要があります——参照、ヨハネ 3:8.

2. どんな事であれ、それが聖書的であったとしても、天然の命の中で行なわれるなら、キリストのからだの実際ではありません—— I コリント 3:12。

IV. わたしたちは復活の中で生活するために、復活の神を知り、経験し、得なければなりません—— II コリント 1:8-9 :

- A. 神はわたしたちを終結させるために、すなわち、わたしたちを終わりへともたらすために、十字架を通して働いています。それはわたしたちがもはやわたしたち自身に信頼するのではなく、復活の神に信頼するためです—— 9 節。
- B. 生ける神は人のために多くの事を行なうことができますが、生ける神の命と性質は人の中へと造り込まれません。復活の神が働くとき、彼の命と性質が人の中へと造り込まれます—— 4:16 :
 1. 神が働いているのは、外側の行ないで彼の権能を知らせるためではなく、彼ご自身を人の中へと分け与え、造り込むためです——ガラテヤ 1:15-16. 2:20. 4:19。
 2. 神は環境を用いて、彼の命と性質をわたしたちの中へと造り込みます—— II コリント 4:7-12. I テサロニケ 3:3。
 3. わたしたちは復活の中で生活し、復活の神をもって構成されるために、「すべて」を通して神の長子であるキリストのかたちへと同形化されなければなりません——ローマ 8:28-29. ヘブル 12:10. エレミヤ 48:11。
 4. この宇宙における苦難の主要な目的は、特に神の子どもたちに関しては、苦難を通して神の性質が人の性質の中へと造り込まれ、最も満ち満ちた程度にまで人が神を得るためです—— II コリント 4:16。
 5. わたしたちは苦しみを経過するとき、継続的な更新が日ごとにわたしたちの中で起こる必要があります。それは神が、わたしたちを新エルサレムとするという彼の心の願いを達成することができるためです——エゼキエル 36:26. II コリント 5:17. 啓 21:2。
- C. わたしたちは復活の中で生活するために、復活の命の新鮮な供給をもって養われることによって、日ごとに新しくされなければなりません—— II コリント 4:16 :
 1. 真のクリスチャン生活とは、朝、夕、日ごとに復活の神がわたしたちの中へと加えられることです——コロサイ 2:19. ローマ 8:10, 6, 11。
 2. わたしたちは、復活の中の神聖な命の新しくする力を受け入れるために、神と接触し、自分自身を彼に開き、彼にわたしたちの中へと入ってきていただいて、日ごとに新しくわたしたちの中へと増し加わっていただく必要があります——ピリピ 2:13. 3:10-11 :
 - a. わたしたちは、十字架、聖霊、わたしたちのミングリングされた霊、神の言葉によって新しくされます—— II コリント 4:10. テトス 3:5. エペソ 4:23. 5:26。
 - b. わたしたちは毎朝、復興される必要があります——マタイ 13:43. 箴 4:18。
 - c. わたしたちは、他の人を赦すことと赦されるのを求めることによって、新しさの原則の中でパンさきに来るべきです——マタイ 26:29. 5:23-24. 18:21-22, 35。
 3. 十字架の殺しは、復活の命の現れという結果になります。この日ごとの殺しは、復活における神聖な命の解放のためです—— II コリント 4:10-12。
- D. 主に対するわたしたちの奉仕が復活の中で有用になるために、わたしたちの天然の

力と能力は、十字架によって対処される必要があります——ピリピ 3:3 :

1. モーセは神によって四十年間わきへ置かれた後、神の導きにしたがって神に仕えることと、神に信頼することを学びました——出 2:14-15. 使徒 7:22-36. ヘブル 11:27-28。
2. ペテロは徹底的に失敗した後、信仰により、へりくだりをもって、兄弟たちに仕えることを学びました——ルカ 22:32-33. ヨハネ 18:15-18, 25-27. マタイ 26:69-75. I ペテロ 5:5-6。
3. 芽を出した杖が表徴するのは、復活におけるキリストに対するわたしたちの経験であり、それはわたしたちが神によって受け入れられ、神が与えた務めにおいて権威を持つということです——民 17:8。
4. 七倍に強化された命を与える霊は、復活の中の事柄だけを尊びます。わたしたちが行なうどんな働きも、それが復活の中に無いなら、命を与える霊は決してそれを尊びません——I コリント 15:58. 3:12。